

事業所名

すたありっとステップ 東住吉

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

28日

| | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|----|-----|---------|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | | 「障がい者」という言葉をこの国から無くす | | | | | |
| 支援方針 | | 「コミュニケーション能力の成長」を最大の目的として、年齢と障がいの程度に合わせたステージでコミュニケーション能力を高める段階的なサポートを行っています。中～重度の小～高校生：言語聴覚療法を主軸に、専門的視点から個別にプログラムを実施し、預かり機能を備えた集団での余暇活動を支援します。 | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分 | 19時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・生活の基本的スキル（食事、着替え、排せつ等）の獲得 ・気温によって衣服の調節・身だしなみを整える 衛生管理（うがい・手洗い・手の消毒等）・体調管理 ・トイレトレーニング | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・ビジョントレーニング ・運筆 ・粗大運動 ・微細運動 ・バランス運動 ・姿勢の保持 ・身体及び移動能力の向上 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚の強化 ・玉入れ・サーキットトレーニング | | | | | |
| | 認知・行動 | ・時計を読めるようにする（時間の概念の認知）・ひらがななどの文字や数の認知の獲得 ・小集団の遊びのなかで適切な行動を覚える/他児への配慮を覚える（認知の偏りへの配慮）・一日の流れを理解して行動する。活動予測が出来る。自己決定。 | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 意思表示（カード・単語・二語文・三語文など）・自分の気落ちを人に伝えられる。注意喚起ができる。相手の注意が自分に向いたのかの反応が待てる。 | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 遊びを通じてのルール理解・玩具の貸し借り・挨拶・他事業所との交流を通して他児童との交流を図る | | | | | |
| 家族支援 | | ・事業所で行っている支援方法をご家庭でも実践できるように声掛けの方法や、かかわり方などを送迎時、面談時に具体的にお伝えする。 ・普段の様子、変化のあった個所などを通所の都度、保護者様に共有する。 | | | 移行支援 | | ・定期的に学校(幼稚園・保育園)と情報共有し、役割分担について等協議する。 ・必要に応じ、学校(幼稚園・保育園)を訪問し、児童とのかかわり方を共有する。 |
| 地域支援・地域連携 | | ・町内会と連携し、地域のイベント(お祭り等)に参加し、交流を図る。 ・関係機関と定期的に連携会議を開催し、情報共有と役割分担について協議する。 | | | 職員の質の向上 | | ・入社時の本部研修実施、その後現場にて本部職員によるフォローアップ研修実施。 ・1か月に1回以上の事業所内研修実施。 |
| 主な行事等 | | ・土曜日、祝日、長期休暇中にイベント実施。 ・季節のイベント（夏祭り・クリスマス等）・芸術鑑賞・映画鑑賞・公園遊び・クッキング・制作イベント等 | | | | | |